

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2014

9

Vol. 3 No.9



口絵		
シラスの溶結凝灰岩を石材として使った構造物	七山 太	257~258

誕生石の鉱物科学 — 9 月 ブルー・サファイア (3) —	奥山康子	259~260
--------------------------------	------	---------

平成 25 年度廣川研究助成事業報告 (1) ガーナ・エンスタマンガン鉱床の成因解明に向けた試み	後藤孝介	261~265
---	------	---------

平成 25 年度廣川研究助成事業報告 (2) 南海トラフ玄武岩の比抵抗測定	北島弘子	266~267
--	------	---------

シームレス地質図でたどる幸田 文『崩れ』(第 11 回)	森尻理恵・中川 充・斎藤 眞	268~275
------------------------------	----------------	---------

ASEAN 鉱物資源データベース	大久保泰邦・大野哲二・Joel Bandibas・大木優利	276~280
------------------	-------------------------------	---------

日本地質学の軌跡 1 和田維四郎と小藤文次郎：14 歳，運命の外国語選択	鈴木 理	281~286
---	------	---------

新人紹介 荒岡大輔 (地圏資源環境研究部門)，森 宏 (活断層・火山研究部門) 江島輝美 (地圏資源環境研究部門)，松崎賢史 (地質情報研究部門)		287~288
--	--	---------

表紙説明

入戸火砕流の溶結凝灰岩で作られた水と豊穡の神“田の神”

約 3 万年前に始良火山の巨大噴火によって大隅半島を広域に覆った大規模火砕流堆積物を，シラスと呼んでいる。シラスは水捌けがよいために農耕地には適さず，しかも雨水や流水に対して脆く，崩壊しやすい土木工学的特性を持っている。その一方で，シラスの溶結した部分は，加工しやすい地元の貴重な石材として重宝されてきた。大隅半島では，台地縁の水源地や湧水地付近に，溶結凝灰岩で作られた“田の神”という水と豊穡の神が数多く祭られている。このことから，不毛なシラスの地で人が生活するうえにおいて，水源が如何に貴重であったかが容易に想像できよう。(写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質情報研究部門)

Cover Page

Water and agriculture God made in the welded tuff of the Ito pyroclastic flow in Osumi Peninsular, Southern Kyushu. (Photograph and caption by Futoshi Nanayama).